



結婚式のウェルカムボードならぬウェルカムTシャツ（制作：阿佐谷生活園）

昨年3月11日、東日本大地震が起き、被災された方々及び津波や原発被害を受けた方々におかれましては心からお悔やみ申し上げます。

愛する家族や身内及び友人を失い、とても新春を祝う気持ちにはなれないと思いが、傷心を癒し、新しい年を迎えたこの期に未来の光に向かい前に進んで立ち直って下さい。

美しい三陸のリアス式海岸の自然と東日本被災地の早い復旧、復興を祈念しています。今年もこの生命の有るありがたみに感謝し、生かされてる命が有る限り障害者や高齢者はじめ弱者の方々や世の為人の為にすこしでもお役に立ちたいと思えます。

今一番「障害者支援の為にベターなものは何か?」「幸せは何か?」と自問自答しますとそれは高齢化対策であり、すぐやらねばならないと責任を感じます。

そこで高齢化の障害者福祉サービスと複合施設を計画し今後5年以内に計画を進め実施したいと考えています。

さて、いよいよ3月には当法人の屋舎完成に伴い4月1日から開所します。

創立45周年を迎え、いたるセンターの歴史の新たな1頁のスタートが始まります。

未曾有のM9を超える大地震の経験と知恵から、同程度の大地震にも耐えうる頑丈な建物を建造しましたので、震災時でも最低限の「安全安心」

なサービスを提供出来ます。

ライフラインの水道は地下水を利用しますのでトイレやシャワーが使用可能です。

バイオディーゼル燃料利用の発電機を設置しますから一部照明と通信等は確保出来ます。さらに照明は全館すべてLEDの設置で省エネと節電対策が図られています。

今後60年から70年間は建物を使用可能としますので将来の研究をし、「安全安心」を第一に配慮してきました。

また、4月から障害者総合福祉法（仮称）が施行され、医療的ケアの必要性にも対応することが出来るようあらかじめ設備を施しています。

# いたる通信

ITARU CENTER

43

新春号

## 目次 contents

- 01 巻頭言
- 02 阿佐谷生活園 目黒本町福祉工房 開設準備室 いたる相談室
- 03 あけぼの作業所さんまるしえ サポートウイズ クローバー&マルコ
- 04 パン工房「PUKU PUKU」 阿佐谷生活園 他

### 新年明けましてありがとうございます

社会福祉法人いたるセンター 理事長 谷山 哲浩



「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。

年会費 105千円（何口でも可）  
郵便振り込み 00107 128992  
（問）33927346 事務局 蓮田まで



http://itarunopanouentai.blog77.fc2.com/

## パン工房「PUKU PUKU」

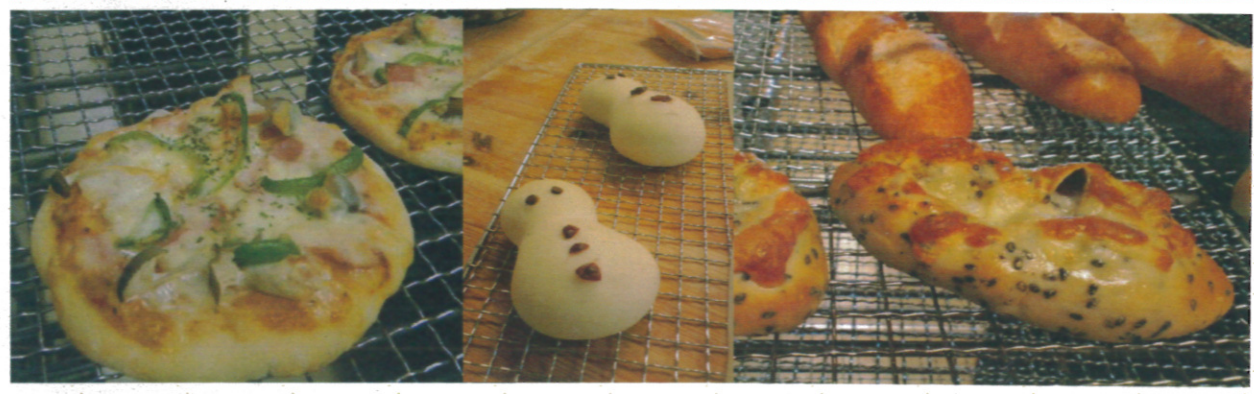
### パンの引き売り開始

お 店まで買いに来にくいお客様やまだ、お店をご存じない方のためにパンの引き売りを区内で初めて行っています。

現在は、一台で行っています。お客様の利用状況や商品ニーズを考えながら徐々に台数を増やしていきます。

お近くで見かけた時は、是非一度お買い求め下さい。

## 新春の新作パン



## 阿佐谷生活園

### シルクスクリーン印刷

卒業園、卒業の前に、おそろいのクラスTシャツ、クラスパーカーをつくりませんか?

世界でたった一つの記念品、思い出を形にさせて頂きます。

阿佐谷生活園のTシャツプリントは1枚からご注文頂けますが、30枚以上ご注文頂けると1枚840円から、パーカーですと3,150円からオリジナルTシャツ、パーカーが作成できます。

先日結婚式でおお客様をお迎えするウェルカムボードならぬ、ウェルカムTシャツ（巻

マラソンサークル走友塾様からご注文頂きました。Tシャツのご注文は、下記アドレスで! Eメール: print@itarucenter.com

目黒川みんなのイルミネーション視察 総務 春木 琢康

BDF燃料で地域活性化

黒川沿いの景観資源をかしながら地域活性化にBDF燃料が使われている事を聞き、五反田駅そばから、川沿いを散策してまいりました。

発電の音もほとんど気にならず、世界でたった一つの素敵な思い出の品となりました。

是非、皆様の思い出作りのアイテムとしてお役立て下さい。

また、昨年末には、年明けに区で行われる賀詞交歓会の記念品のタオルの名入れ印刷もいただきました。

タオル、エコバック等への印刷も行っていきます。

そちらの注文もお待ちしております。

また、昨年末には、年明けに区で行われる賀詞交歓会の記念品のタオルの名入れ印刷もいただきました。

タオル、エコバック等への印刷も行っていきます。

そちらの注文もお待ちしております。



記念品・粗品に是非どうぞ!!

いたる広報委員 発行責任者=谷山 哲浩

社会福祉法人いたるセンター 〒167-0032 東京都杉並区天沼1-15-18  
TEL: 03-3392-7346 FAX: 03-3391-8039  
Eメール: info@itarucenter.com HP: http://www.itarucenter.com/ 発行日/平成24年1月1日

ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。いたる広報委員まで。



目黒川のみんなのイルミネーション2011の様子

ならないで夜桜のようなイルミネーションを楽しむことが出来ました。

BDFの燃料になるてんぷら油も地域から回収しています。100%自家発電で点灯し、「地産地消」を実現していました。

いたるセンターでも今後、BDF燃料を使った地域貢献に力を入れていきたいと思っています。BDF燃料のご利用は、阿佐谷生活園まで

(前ページより)  
次に、ショートステイ「クローバー」は5床から8床へと増床します。これにより短期入所サービスの一体化が図られ障害児のデイサービスが可能となります。

需要が多く利用者様にはこれまで空きが無く不便や迷惑をかけていましたが、これからは比較的に利用しやすく成ると思えます。

阿佐谷生活園はパン工房と菓子工房(ラスク等の製造)を新たに設置し就労継続B型の運営で工賃アップに繋げ、自立支援への目的を持って実践してまいります。

### 阿佐谷生活園

BDFで未来を照らす

阿 佐谷生活園では、今年は、特にBDFの精製に力を入れていきます。

区内全域の小・中学校の給食使用済み油の回収の実施とご利用者様に工賃2万円の支給を目指してまいります。

3月に完成する新屋舎では、大震災後のライフラインの維持を考え、BDFを使用した発電機を導入します。また、町会や商店街のイベ

践してまいります。食事は多目的に使用可能できるようにしました。土・日・休日やアフター4時は地域の方々に開放できるように考えています。

最後に成りますが、新年度から目黒本町福祉工房は指定管理者として当法人にその運営をまかせられ障害者支援の充実を期待を寄せていただいています。

今年も精一杯努力し精進してまいりますのでご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。平成24年 元旦

主任 蓬田 正信  
(よもぎだ まさのぶ)

ント時の電飾や音響用発電燃料や大型施設の予備電源用燃料として活用していただけるように準備してまいります。さらなるエコを考えて、出

来るだけごみを出さないよう燃料の精製工程で出るグリセリンを加えた商品の開発も検討してまいります。



給油活動の様子

### 目黒本町福祉工房 開設準備室

室長 村瀬 史貴  
(むらせ ふみつく)

### 新団長日記

スタートライン

引 継ぎが始まり2ヶ月が過ぎた。時間が経過するスピードの遅早については論議を呼ぶところであるが、この2ヶ月間は長かったというのが実感である。但し、一日一日の長短から言えば、あまりにも時間が少なく、その点では四苦八苦していたのが現状であった。

BDFは、自動車の燃料としてだけでなく、太陽光、地熱発電とともに有効なエネルギー資源の一翼を担っている商品だと考えています。これからの事業拡大・拡充にご期待ください。

### あけぼの作業所

グループ化から半年たってこれからの展望

所長 阿久津 庄司  
(あくつ しょうじ)

今 年6月からスタートしたグループ化は、以前の班構成と新体系移行後の3事業が混在していた状態を整理して、目標や仕事をわかりやすくすることを目的としました。

各グループのメンバーさんは、ある程度決まった仕事を毎日行うことで、仕事の習熟度が大幅に増しました。

またスタッフは、担当しているメンバーさんと常時仕事を共にすることで所属のメン

バーさんを深く理解できる体制になったと思います。一方では、グループ化はともすると所属グループというものに囚われすぎて、作業所全体が見えにくくなってしま

う恐れもあります。我々スタッフは、あけぼの作業所の支援員として、グループを中心目標に向かって努力しながら、同時に、通ってこられるメンバーさん全員に対して、より良いサービス

### さんまるしえ

アンテナショップとして

昨 年6月25日にオープン致しました「さんまるしえ」は初めての正月を迎えます。1月は5日より営業がスタートします。

目黒区内にあります14の福祉施設よりご提供頂きます商品には、お正月らしい物も沢山あります。

目黒本町福祉工房の「新年カレンダー」「千支の土鈴」、大橋えのき園の「お箸袋」、特定非営利活動法人SUNの



目黒本町福祉工房他の製作品

「ポチ袋」等盛り沢山ございます。又、しいの実社の「お菓子の詰合せGIFT」は新年のご挨拶用にぴったりです。1月も各施設とのフェアを予定しておりますので、是非ご来店下さい。

### 目黒本町福祉工房のご家族の皆様が当法人の杉並区での取組みを見学!



目黒本町福祉工房のご家族の皆様が当法人の杉並区での取組みを見学!

そんな焦燥感の最中、12月を迎え、一挙に10名近い引継ぎスタッフが工房での仕事を開始した。気心の知れたスタッフもいれば、工房での仕事を通じて、これからお互いを知ることになる者も多くいる。その割合はおおよそ半々。混成チームと言えるが、2週間が過ぎ、新しい一日を積み上げていくことで、各自が立脚すべき共通の土壌が醸成されている、そんな手応えを徐々に感じる事ができるようになってきた。

素直な心で、謙虚に且つ積極的に一日一日を積み上げ、利用者、ご家族、現スタッフの安心と信頼を得られることにまずは専心し、そこをスタートラインとして、新しい工房の未来を思い描いていきたいと思っている。

### いたる相談室

メンタルフレンド 石川耕平・安藤さなえ

く ねならずむカフェは、月一回の開催で、行事を決めたり、調理実習を行なっています。調理実習はいつも好評で、メニューは、話し合いで決め、利用者のみならず一緒に楽しめるようにアレンジを加えています。ミョウガやネギの薬味たっぷりのお茶漬(7月)、カロリー控えめチャーハンと餃子(10月)と、季節感も出すようにしています。



ゴヤチャンプル(11月)

く ねならずむカフェでは、一人ひとりが意見を言えるような雰囲気作り、話をしっかりと聴くことを心掛け、調理の際には全体に目を向け、利用者のみならずが楽しく参加できることを大切にしています。

メンタルフレンド募集中  
いたる相談室では、利用者に寄り添いながら支援をしてくださる福祉系大学生のメンタルフレンド(スタッフ)を募集しています。  
いたる相談室 室長 春山まで

### クローバー&マルコより

ク ローバー(短期入所・成人日帰りショートステイ)・マルコ(児童日帰りショートステイ)は区で定めている目的「在宅の障害児・者が、日常生活を行って保護者又は家族の病気、出産、冠婚葬祭、就労、休息その他の理由で介護を受けることができなくなった場合に、施設で一時的に生活の援助を受けるサービス」に沿って事業を行っています。

安全にお過ごしいただく場の提供と、身体その他の状況に応じた排泄等の介助又食事提供をしています。

その他のサービスとして、平日に限り、区内の通所通学先への送迎サービスを行っています。



クローバーの送迎車両

こ契約の皆様へ  
平成24年4月に新屋舎へ移転します。  
移転に伴う休業等は、追ってお知らせします